

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	自然との共生	目標	自然との調和			
分類	自然環境の保全を推進します。					
施策番号	1-1-1	施策	絶滅が危惧される生物について生態調査等の情報収集を行い適切な保護を推進します。			
事業	茨城県版レッドデータブック等を参考に絶滅が危惧される生物の情報を収集し、本市の湿地などに生息する「コイヌガラシ」や「コツブヌマハリイ」、「キタミソウ」など希少な植物の生態を調査するとともに、保全活動を推進する。					
現状と課題	現状では生体数が少なく生息域の特定や生体確認など情報収集が困難な状況である。今後においては、関係機関と協力し課題解決に向けた生態調査などに取り組み、希少生物の保全活動などが実施できる体制の整備を図っていく。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・情報収集、生息域の調査 ・環境保全活動の推進 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	自然との共生	目標	自然との調和			
分類	自然環境の保全を推進します。					
施策番号	1-1-2	施策	貴重な動植物が生育できる環境の保全に努めます。			
事業	自然環境と貴重な動植物の生育環境を保全する。					
現状と課題	市街化区域及びその周辺において都市化が進んでいるが、既存集落のある市街化調整区域やその周辺には、多くの自然が残っている。貴重な動植物が生育できる環境を保全できるように、緑地環境保全区域などの保全に努める。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・緑地環境保全区域などの保全に努める。				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	産業経済課	
基本目標	自然との共生	目標	自然との調和			
分類	自然環境の保全を推進します。					
施策番号	1-1-3	施策	外来種生物の実態と影響を調査し、種類、個体数の増加抑制を周知・啓発します。			
事業	茨城県で駆除対象に定めている特定外来生物のアライグマの駆除を促進する。					
現状と課題	外来生物は、生態系や農林水産業に悪影響を及ぼす可能性があり個体数増加を抑制する対策が必要である。特定外来生物であるアライグマの駆除を促進することにより、繁殖の抑制を図る。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	駆除頭数50頭	駆除頭数50頭	駆除頭数50頭	駆除頭数50頭	駆除頭数50頭
	行動計画	・アライグマの駆除促進				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	建設課	
基本目標	自然との共生	目標	自然との調和			
分類	自然環境の保全を推進します。					
施策番号	1-1-4	施策	河川や道路等の整備において、自然環境や生態系に配慮して事業を推進します。			
事業	道路整備事業において、自然環境や生態系に配慮した事業を推進する。					
現状と課題	道路整備事業を行う際には国が定める環境基準を遵守し、自然環境に配慮した施工を行う。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・工事において排出ガス対策型の建設機械を使用する				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	産業経済課	
基本目標	自然との共生	目標	自然との調和			
分類	里山を保全し活用を推進します。					
施策番号	1-1-5	施策	農業体験や里山の保全などの都市農村交流活動を行っているNPO法人の活動を支援します。 (都市農村交流活動支援事業)			
事業	NPO法人が実施する都市農村交流活動や、里山の再生と環境保全活動を支援する。					
現状と課題	都市農村交流活動事業を実施しているNPO法人に対して、委託契約を結び事業支援をしている。 世相が参加者数に大きな影響を及ぼすものであり、状況によっては目標値に大きく及ばない可能性も危惧される。 今後も継続的に事業活動が行えるよう支援する。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	交流事業参加者数 300人	交流事業参加者数 310人	交流事業参加者数 320人	交流事業参加者数 335人	交流事業参加者数 350人
	行動計画	・委託による都市農村 交流事業の実施				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	自然との共生	目標	自然との調和			
分類	里山を保全し活用を推進します。					
施策番号	1-1-6	施策	間伐材の有効利用として、チップ化や落ち葉を利用した堆肥作り等を推進します。			
事業	間伐材のチップ化や堆肥作りの有効利用について調査研究し市民へ利用方法の紹介を行う。					
現状と課題	個人でも気軽に利用できる方法について調査し、間伐材について身近に感じてもらえるよう情報を発信する。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・利用方法の調査研究 及び周知				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	農業委員会事務局	
基本目標	自然との共生	目標	自然との調和			
分類	農地を保全し活用を推進します。					
施策番号	1-1-7	施策	農地の利用状況を調査し、遊休農地の解消と新規発生を抑制を図ります。（遊休農地対策事業）			
事業	農業委員と農地利用最適化推進委員の連携による農地の利用状況調査、農地パトロール及び農地適正管理指導の実施徹底により、遊休農地の解消と新規発生を抑制を図る。					
現状と課題	農業者の高齢化や後継者不足等により、毎年新たな遊休農地が発生しており、農地の利用状況調査の円滑な実施と遊休農地所有者への適正管理指導が重要となっている。また、遊休農地を初期段階に発見し、未然に防止する対策が必要となっている。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	耕作放棄地（遊休農地） 面積68ha	耕作放棄地（遊休農地） 面積60ha	耕作放棄地（遊休農地） 面積52ha	耕作放棄地（遊休農地） 面積44ha	耕作放棄地（遊休農地） 面積36ha
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・農地パトロール ・利用状況調査 ・文書発送や電話による農地適正管理指導 ・農地の集積・集約化による発生防止 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	産業経済課	
基本目標	自然との共生	目標	自然との調和			
分類	農地を保全し活用を推進します。					
施策番号	1-1-8	施策	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るための地域の共同活動を支援します。（多面的機能支払交付金事業）			
事業	農業・農村の有する多面的機能の維持・発揮を図るため、地域の共同活動に係る支援を行い、地域資源の適切な保全管理を推進する。					
現状と課題	近年の農村地域の過疎化、高齢化等の進行に伴う集落機能の低下が懸念されている。そのため、事業の制度を周知し実施組織を増やすことで各地域における共同活動を支援していく。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	活動組織数22組織	活動組織数22組織	活動組織数22組織	活動組織数23組織	活動組織数23組織
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 市広報等による制度周知 地域活動の支援 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	産業経済課	
基本目標	自然との共生	目標	自然との調和			
分類	農地を保全し活用を推進します。					
施策番号	1-1-9	施策	新規の営農希望者や農業後継者の確保と育成を図ります。			
事業	新規の営農希望者や農業後継者に対し、積極的に営農に関する情報提供を行うとともに、営農計画等の助言や国等の補助金の活用を推進することで、安定的な農業収入が見込めるよう支援する。					
現状と課題	新規の営農者や後継者については、就農初期に必要な営農計画の作成や補助事業などの経営開始にあたっての支援制度や、農地の確保などについて、相談・助言する体制を整備し、経営の安定化を図ることができるよう支援をしている。増加傾向にある離農者からの農地の集積・集約等もふまえ、経営の安定化を図るための支援体制を整備する。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・補助制度、就農支援制度の情報提供 ・営農計画の作成支援 ・農地中間管理事業の周知 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	産業経済課	
基本目標	自然との共生	目標	自然との調和			
分類	農地を保全し活用を推進します。					
施策番号	1-1-10	施策	耕作放棄地の解消を図る仕組みを検討します。			
事業	耕作放棄地を解消するため、「耕作放棄地再生事業補助金」事業を推進する。					
現状と課題	耕作放棄地解消の活用可能な補助事業の情報提供を行い、活用を促していく。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・補助事業の情報提供				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	産業経済課	
基本目標	自然との共生	目標	自然との調和			
分類	農地を保全し活用を推進します。					
施策番号	1-1-11	施策	市民に農業が親しめるよう、遊休農地を活用した市民農園等の利用を推進します。（市民農園管理事業）			
事業	市民農園の提供を行い、市民が野菜や花等の栽培を通して自然と触れ合うことで、農業に対する理解を深める。					
現状と課題	空き区画については、市が除草等を実施し、適切な維持管理を行っている。 駐車場については、経年による劣化が想定されるため、適宜、点検等を行い、必要に応じて適切な処置を行う。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	利用者数133人	利用者数134人	利用者数134人	利用者数134人	利用者数134人
	行動計画	・市民農園の維持管理				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					
						

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	産業経済課	
基本目標	自然との共生	目標	自然との調和			
分類	農地を保全し活用を推進します。					
施策番号	1-1-12	施策	生産者、消費者、事業者に地産地消を市のホームページや広報でPRします。			
事業	地元の農産物を地元で消費する活動を把握しPRする。 具体的には、学校給食での地元野菜の使用推奨や茨城をたべよう運動の推進、地元農産物の地元購入促進を図る。					
現状と課題	学校給食での利用を推進しているが、今後学校給食で使用できるメニューを増やしていく必要がある。また、毎月第一土曜日に実施しているつくばみらい4Hクラブが主催するあさのいちについては、新規の集客拡大を目指していく。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・学校給食の利用促進 ・地元農産物の販売促進 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	産業経済課	
基本目標	自然との共生	目標	自然との調和			
分類	農地を保全し活用を推進します。					
施策番号	1-1-13	施策	エコファーマー認証や、環境保全型農業を推進します。			
事業	化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を支援する。					
現状と課題	現状は、市内で2団体が環境保全型農業に取り組んでいるが、認証や補助の要件等のハードルが高く、対象となる営農者が少ないため、支援対象となる新規の団体が少ない。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・広報紙や特別栽培に取り組む農業者等に対する事業周知				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	都市計画課	
基本目標	自然との共生	目標	緑化の推進			
分類	緑の創出や緑化を推進します。					
施策番号	1-2-1	施策	くつろぎや憩いの場、環境の保全や景観の向上など緑豊かな自然とふれあえる生活空間を形成する都市公園の整備を促進します。（都市公園整備及び管理事業）			
事業	市民が緑とふれあい、くつろぎや憩いの場となる都市公園を維持管理するとともに、整備を促進する。					
現状と課題	現在、市内の20箇所において約20haの都市公園が整備されている。 公園施設や遊具の老朽化に加え、定期的な除草作業や樹木選定等に係る維持管理経費の増加が課題となっている。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	都市公園整備面積20.2ha	都市公園整備面積20.2ha	都市公園整備面積20.2ha	都市公園整備面積20.2ha	都市公園整備面積20.2ha
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 都市公園の維持管理 (仮称)伊奈東街区公園整備(約0.2ha) 	<ul style="list-style-type: none"> 都市公園の維持管理 			
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	都市計画課	
基本目標	自然との共生	目標	緑化の推進			
分類	緑の創出や緑化を推進します。					
施策番号	1-2-2	施策	農村公園の適切な維持管理に努めます。			
事業	農業集落の憩いの場を提供する農村公園の適切な維持管理に努める。					
現状と課題	農村公園は、幅広い世代のコミュニケーションの場として重要な役割を担っている。農村公園の管理については、5ヶ所が地元管理で、1ヶ所が市管理となっている。年間を通じた除草作業や遊具点検など、維持管理経費が課題となっている。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・遊具の点検・修理 ・除草等の維持管理 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	教育指導課	
基本目標	自然との共生	目標	緑化の推進			
分類	緑の創出や緑化を推進します。					
施策番号	1-2-3	施策	子供たちが緑と親しみ、愛し、守り育てる活動を推進します。			
事業	学校林や身近な森林において、児童・生徒や地域の森林ボランティア団体等が一体となって森林活動などに取組む「森林環境教育促進事業」や、学校敷地での緑化活動を行う「学校環境緑化モデル事業」を実施します。					
現状と課題	現在、学校には学校林など植栽しているが、年々枯れ始めてしまい倒木の危険性から伐採されている学校林が多数ある。また、身近な森林においても、開発などによって森林が伐採され減少しているのが現状である。今後においては、それらの課題解決に向けた調査・協議に取り組み、緑化活動を推進します。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 学校林の維持管理 小張小学校において「学校緑化モデル事業」の実施を計画 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	自然との共生	目標	緑化の推進			
分類	自然環境の保全を推進します。					
施策番号	1-2-4	施策	間伐材の有効利用を推進します。			
事業	間伐材の有効利用を推進します。					
現状と課題	個人でも気軽に利用できる方法について調査し、間伐材について身近に感じてもらえるよう情報を発信する。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・利用方法の調査研究 及び周知				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	農業委員会事務局	
基本目標	自然との共生	目標	緑化の推進			
分類	農地の保全を推進します。					
施策番号	1-2-5	施策	農地の利用状況を調査し、遊休農地の解消と新規発生を抑制を図ります。（遊休農地対策事業）			
事業	農業委員と農地利用最適化推進委員の連携による農地の利用状況調査、農地パトロール及び農地適正管理指導の実施徹底により、遊休農地の解消と新規発生を抑制を図る。					
現状と課題	農業者の高齢化や後継者不足等により、毎年新たな遊休農地が発生しており、農地の利用状況調査の円滑な実施と遊休農地所有者への適正管理指導が重要となっている。また、遊休農地を初期段階に発見し、未然に防止する対策が必要となっている。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	耕作放棄地（遊休農地） 面積68ha	耕作放棄地（遊休農地） 面積60ha	耕作放棄地（遊休農地） 面積52ha	耕作放棄地（遊休農地） 面積44ha	耕作放棄地（遊休農地） 面積36ha
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・農地パトロール ・利用状況調査 ・文書発送や電話による農地適正管理指導 ・農地の集積・集約化による発生防止 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	産業経済課	
基本目標	自然との共生	目標	緑化の推進			
分類	農地の保全を推進します。					
施策番号	1-2-6	施策	新規の営農希望者や農業後継者の確保と育成に協力します。			
事業	新規の営農希望者や農業後継者に対し、積極的に営農に関する情報提供を行うとともに、営農計画等の助言や国等の補助金の活用を推進することで、安定的な農業収入が見込めるよう支援する。					
現状と課題	新規の営農者や後継者については、就農初期に必要な営農計画の作成や補助事業などの経営開始にあたっての支援制度や、農地の確保などについて、相談・助言する体制を整備し、経営の安定化を図ることができるよう支援をしている。増加傾向にある離農者からの農地の集積・集約等もふまえ、経営の安定化を図るための支援体制を整備する。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・補助制度、就農支援制度の情報提供 ・営農計画の作成支援 ・農地中間管理事業の周知 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	産業経済課	
基本目標	自然との共生	目標	緑化の推進			
分類	農地の保全を推進します。					
施策番号	1-2-7	施策	耕作放棄地の解消を図る仕組みを検討します。			
事業	耕作放棄地を解消するため、「耕作放棄地再生事業補助金」事業を推進する。					
現状と課題	耕作放棄地解消の活用可能な補助事業の情報提供を行い、活用を促していく。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・補助事業の情報提供				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	産業経済課	
基本目標	自然との共生	目標	緑化の推進			
分類	農地の保全を推進します。					
施策番号	1-2-8	施策	市民に農業が親しめるよう、遊休農地を活用した市民農園等の利用を推進します。（市民農園管理事業）			
事業	市民農園の提供を行い、市民が野菜や花等の栽培を通して自然と触れ合うことで、農業に対する理解を深める。					
現状と課題	空き区画については、市が除草等を実施し、適切な維持管理を行っている。 駐車場については、経年による劣化が想定されるため、適宜、点検等を行い、必要に応じて適切な処置を行う。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	利用者数133人	利用者数134人	利用者数134人	利用者数134人	利用者数134人
	行動計画	・市民農園の維持管理				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	自然との共生	目標	水辺環境の保全			
分類	水辺環境の保全					
施策番号	1-3-1	施策	水辺の整備において、生態系に配慮して事業を推進します。			
事業	水辺整備事業を新規に行う場合は、生態系に配慮した事業を行えるよう調査研究を行う。					
現状と課題	現在、新たな水辺整備事業は行ってはいない。 新たな水辺整備事業を行う場合には、事業担当課と調整し、生態系に配慮した事業を行えるよう、事前に調査研究を行う。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・生態系に配慮した水辺の調査研究				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	産業経済課	
基本目標	自然との共生	目標	水辺環境の保全			
分類	水辺環境の保全を推進します。					
施策番号	1-3-2	施策	ため池の適正な維持管理を行います。			
事業	地域住民と連携し、ため池を維持管理する。					
現状と課題	自然環境を保全するためには、地域住民と連携し適正な維持管理を継続して行うことが必要。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 適正な維持管理 地域住民と連携 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	都市計画課	
基本目標	自然との共生	目標	水辺環境の保全			
分類	水辺環境の保全を推進します。					
施策番号	1-3-3	施策	福岡堰さくら公園等の身近な親水空間の適切な保全、整備・管理をします。			
事業	福岡堰さくら公園や隣接する親水施設（水辺プラザ）の適切な維持管理を行なう。					
現状と課題	年間を通じた除草委託などを行い、施設の適切な維持管理を行っている。 今後、施設の老朽化に伴う補修や改修が課題であり、施設の点検等しながら適切に維持管理を行っていく必要がある。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・適切な維持管理				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	自然との共生	目標	水辺環境の保全			
分類	水辺環境の保全を推進します。					
施策番号	1-3-4	施策	定期的に河川やため池の水質調査を実施し、結果を公表します。（水質調査事業）			
事業	河川等の水を採取し水質検査を実施し、結果を公表する。また河川等の水質保全に関する啓発を行う。					
現状と課題	水質検査は毎年度実施しており、検査結果の公表を行っている。 今後もホームページで結果を公表するとともに、市民へ啓発を行い意識を高める。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	水質環境基準達成率100%	水質環境基準達成率100%	水質環境基準達成率100%	水質環境基準達成率100%	水質環境基準達成率100%
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 水質調査の実施 結果の公表 河川等の水質保全に関する啓発。 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	上下水道課	
基本目標	自然との共生	目標	水辺環境の保全			
分類	生活排水処理施設の整備を推進します。					
施策番号	1-3-5	施策	河川の水質汚濁の主たる原因である生活排水の処理施設整備を推進します。			
事業	周辺公共水域の水質汚濁防止を目的とした生活排水処理施設の整備を推進する。					
現状と課題	ベストプランに沿った市街化区域の整備は完了している。 今後は農村集落の整備となるが住宅密集地でないため、整備費に対して整備率が伸びにくいが生活排水処理率を向上させるため公共下水道の整備及び合併処理浄化槽の設置を推進する。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	生活排水処理率91%	生活排水処理率91.1%	生活排水処理率91.2%	生活排水処理率91.3%	生活排水処理率91.4%
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 未整備地区の管渠整備 合併処理浄化槽の設置推進 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					
						

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	上下水道課	
基本目標	自然との共生	目標	水辺環境の保全			
分類	生活排水処理施設の整備を推進します。					
施策番号	1-3-6	施策	生活排水処理施設の処理区域内の接続を推進します。			
事業	生活排水処理区域内の接続を推進する。					
現状と課題	生活排水処理区域内であっても未接続の家があり接続の依頼を行っているが処理施設への接続には、排水設備改造費や受益者負担金・加入分担金等の自己負担が発生するため、各家庭に設置された汚水処理設備が故障するまで接続しないという状況を招いている。 今後も戸別訪問などにより接続を推進していく。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・供用開始時に説明及び供用開始3年経過を迎える未接続宅に戸別訪問による接続の推進 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	上下水道課	
基本目標	自然との共生	目標	水辺環境の保全			
分類	生活排水処理施設の整備を推進します。					
施策番号	1-3-7	施策	生活排水処理施設の処理区域外での合併処理浄化槽の設置を推進します。			
事業	周辺公共水域の水質汚濁防止を目的とした生活排水処理区域外の合併処理浄化槽設置を推進する。					
現状と課題	現有の設備から合併処理浄化槽への設置変更は、自己負担で行うため、現有設備が使用できなくなるまで設置しない状況を招いている。 合併処理浄化槽の設置に対し自己負担を軽減するため補助金を交付する制度を設けており、制度の周知により生活排水処理区域及び計画区域外での合併処理浄化槽の設置を推進する。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・市広報により生活排水処理区域及び計画区域外の合併処理浄化槽設置に対する補助制度の周知				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	ごみ減量化・再資源化			
分類	一般廃棄物処理基本計画を推進します。					
施策番号	2-1-1	施策	「一般廃棄物処理基本計画」に基づいて、3R（Reduce：リデュース：減量化；Reuse：リユース：再利用；Recycle：リサイクル：再資源化）の推進と啓発活動を行います。			
事業	一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの減量化及び再資源化を推進する。					
現状と課題	ごみを適正に分別し資源物として排出するよう周知啓発を行っているが、人口増加の影響もあり、ごみの排出量が増加している。3Rを市民一人ひとりが理解し、適正なごみの分別を行うことで、減量化、再利用、再資源化を目指す。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・3Rの啓発と推進活動				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					
						

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	ごみ減量化・再資源化			
分類	一般廃棄物処理基本計画を推進します。					
施策番号	2-1-2	施策	ごみ処理に関する諸情報（一人一日あたり排出量、資源化率）を公表し、市民の意識向上を図ります。			
事業	ごみの排出量や資源化実績などを公表する。					
現状と課題	ごみ排出量の削減、再資源化を図るためには、市民一人ひとりがごみを適正に分別し、マナーを守ってごみを排出することが重要であるが、分別すれば資源になるものを未分別のままごみとして排出されている。ごみの排出量や資源化の実績を公表することで、市民にごみの分別に関する意識の向上を図る。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・市広報やホームページ等 に実績を掲載				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	ごみ減量化・再資源化			
分類	一般廃棄物処理基本計画を推進します。					
施策番号	2-1-3	施策	市が率先してグリーン購入につとめ、普及啓発を図ります。			
事業	環境にやさしい「エコマーク」や「グリーンマーク」等の制度周知を図るとともに、エコ商品を率先して購入するよう啓発に努める。					
現状と課題	環境物品等（環境負荷低減に資する製品・サービス）の調達について、市役所内の事業で率先して調達するよう調整が必要である。循環型社会の形成を推進するためにも、市が率先的に環境物品等を調達する必要があるため、市役所内における普及啓発に努める。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・制度の周知 ・率先した購入に向けた調整 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	ごみ減量化・再資源化			
分類	一般廃棄物処理基本計画を推進します。					
施策番号	2-1-4	施策	ごみ一人一日当たりの排出量を平成27年度実績値より21g削減します。(ごみ減量化事業)			
事業	ごみの分別徹底を市民や事業者へ啓発し、ごみの排出抑制・再資源化を推進することでごみの減量化を図る。					
現状と課題	ごみの排出量を削減するためには、市民や事業者が一般廃棄物処理基本計画に定めたごみの排出やりサイクルについての自己意識を高め、排出されるごみを可能な限り再資源化し、資源の有効利用、環境負荷の低減を図りながら適正処理・処分を行うことで、平成27年度の実績値一人一日当たり712gから令和8年度までに21gのごみ排出量を削減する。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	ごみ排出量730g/人・日	ごみ排出量720g/人・日	ごみ排出量710g/人・日	ごみ排出量701g/人・日	ごみ排出量691g/人・日
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・分別徹底の指導 ・適切な分別方法の啓発 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	ごみ減量化・再資源化			
分類	一般廃棄物処理基本計画を推進します。					
施策番号	2-1-5	施策	生ごみのたい肥化事業の推進を図ります。			
事業	常総地方広域市町村圏事務組合常総環境センターと連携し、受け入れ世帯や回収地区の拡大を目指した取り組みに努める。					
現状と課題	生ごみのたい肥化事業へ取り組むよう周知・啓発を行っているので、事業に参加する世帯や地区が増加している。 生ごみのたい肥化事業を推進していくため常総環境センターと協力し、生ごみの受け入れ量を増やすことが課題となる。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	参加戸数1,700戸	参加戸数1,750戸	参加戸数1,800戸	参加戸数1,850戸	参加戸数1,900戸
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 市広報等による周知啓発 参加者の募集 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	ごみ減量化・再資源化			
分類	一般廃棄物処理基本計画を推進します。					
施策番号	2-1-6	施策	家庭ごみの排出量を削減するためにごみの分別の徹底や適切な排出方法の啓発を行います。			
事業	ごみの分別徹底を市民や事業者へ啓発し、ごみの排出抑制・再資源化を推進することでごみの減量化を図る。					
現状と課題	ごみの排出量を削減するためには、市民や事業者が一般廃棄物処理基本計画に基づき、ごみの排出やリサイクルについての自己意識を高めることが重要である。 排出されるごみを可能な限り再資源化し、資源の有効利用、環境負荷を低減を図りながら適正処理・処分を行う。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・分別徹底の指導 ・適切な排出方法の啓発 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	ごみ減量化・再資源化			
分類	一般廃棄物処理基本計画を推進します。					
施策番号	2-1-7	施策	家庭ごみの中で最も多い紙・布類（汚れたもの以外）の資源物回収を推進します。			
事業	家庭から排出される紙や布類など資源物としての回収を推進し、ごみの減量化・再資源化を図る。					
現状と課題	家庭から排出される紙や布類は、資源物としてではなく、可燃ごみ、不燃ごみとして排出される傾向にある。紙や布類はなるべく資源物として排出するよう周知・啓発し、意識を高めることで、ごみの減量化・再資源化を図る。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・資源物への分別を啓 発				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	ごみ減量化・再資源化			
分類	一般廃棄物処理基本計画を推進します。					
施策番号	2-1-8	施策	家庭ごみの中で二番目に多いビニールや合成樹脂のごみを減らすため、使い捨てのレジ袋の利用をやめ、エコバックの利用を推進します。			
事業	買い物袋やマイバックの利用を推進し、ビニールごみの排出抑制に努める。					
現状と課題	海洋プラスチックや地球温暖化などの問題解決の第一歩として、令和2年7月1日からコンビニやスーパーなどのレジ袋が有料化されたことにより、エコバックやマイバスケットの利用意識が向上している。市としても引き続きエコバックなどの利用を推進し排出抑制に努める。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・エコバック利用推進				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	ごみ減量化・再資源化			
分類	一般廃棄物処理基本計画を推進します。					
施策番号	2-1-9	施策	家庭ごみのうち最も水分が多い生ごみの減量のため、水切りの徹底などを推進します。また、生ごみが出ないエコクッキングの普及・啓発を推進します。			
事業	ごみの減量化を図るため、生ごみの水切り徹底、食品ロスや食べ残しの削減を推進する。					
現状と課題	生ごみの大部分は水分なので「水きりの大切さ」を周知、啓発することによりごみの減量化を図る。 3010運動（宴会などで開始30分と終わりの10分は席で食事を楽しむ運動）やエコクッキング等を市広報やホームページに掲載し、普及啓発を図る。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・市広報やホームページによりごみの減量化を推進				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	ごみ減量化・再資源化			
分類	一般廃棄物処理基本計画を推進します。					
施策番号	2-1-10	施策	環境に配慮した商品やごみの減量化に取り組んでいる商店のエコショップ制度への登録を促進し、市民への周知を図ります。			
事業	環境に優しい商品の販売やごみ減量化・リサイクル活動に積極的に取り組む小売店舗をエコショップとして認定し、市民に広くPRする。					
現状と課題	制度が浸透していないため5店舗の認定となっている。 制度や認定店の活動を周知し取り組みの活性化を図ることでエコショップ制度の推進を図る。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・エコショップ制度の推進 ・市広報やホームページによる周知 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	不法投棄対策			
分類	不法投棄への対策を推進します。（不法投棄防止事業）					
施策番号	2-2	施策				
事業	警察や、本市のボランティアUD監視員と連携しながら、不法投棄防止パトロールを実施するとともに、不法投棄が多発する場所へ監視カメラを設置し、不法投棄の未然防止を行う。 また、市広報やホームページなどを活用し啓発することで不法投棄対策を推進する。					
現状と課題	近年大型のダンプ1、2台程度でゲリラ的な不法投棄が増加している。 監視カメラ、啓発看板の設置や市広報等による啓発により不法投棄の未然防止を図る。 不法投棄の行為者を特定し、指導していくことで投棄件数を減少させることにより対策の推進を図る。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	不法投棄件数32件	不法投棄件数30件	不法投棄件数28件	不法投棄件数26件	不法投棄件数24件
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄対策の推進 看板、監視カメラの設置 市広報による啓発 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					
						

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	不法投棄対策			
分類	不法投棄への対策を推進します。（不法投棄防止事業）					
施策番号	2-2-1	施策	不法投棄の実態を市のホームページや広報等で提示します。			
事業	不法投棄防止パトロールを行うとともに、市広報やホームページなどを活用した啓発活動を行う。					
現状と課題	近年大型のダンプ1、2台程度でゲリラ的な不法投棄が増加している。 市内で発生した不法投棄の案件を市広報やホームページに掲載することで不法投棄に関する市民の意識向上を図る。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄防止の啓発 市広報やホームページに記事掲載 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	不法投棄対策			
分類	不法投棄への対策を推進します。（不法投棄防止事業）					
施策番号	2-2-2	施策	不法投棄を禁止する看板の設置や市ホームページ、市広報の活用による啓発活動を推進します。			
事業	不法投棄防止パトロールを行うとともに、市広報やホームページなどを活用した啓発活動を行う。					
現状と課題	近年大型のダンプ1、2台程度でゲリラ的な不法投棄が増加している。 市内で発生した不法投棄の案件を市広報やホームページに掲載することで不法投棄に関する市民の意識向上を図る。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 不法投棄防止看板の設置 市広報やホームページなどへの記事掲載 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	不法投棄対策			
分類	不法投棄への対策を推進します。（不法投棄防止事業）					
施策番号	2-2-3	施策	警察、茨城県ボランティアU.D.監視員等との連携によりパトロール活動を充実させ、未然防止や早期発見を図ります。			
事業	警察、茨城県のU. D. 監視員や、本市で新しく組織するU. D. 監視員と連携しながら、不法投棄防止パトロールを実施し、監視体制の充実・強化を図る。					
現状と課題	不法投棄の対策は、早期発見、早期対応が重要であることから、市民のボランティアにより構成するU. D. 監視員によるパトロール活動を充実させることで監視体制の充実を図る。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・市ボランティアUD監視員との連携 ・監視体制の強化 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	不法投棄対策			
分類	不法投棄への対策を推進します。（不法投棄防止事業）					
施策番号	2-2-4	施策	監視カメラ等を設置し、関係機関の協力を得て、不法投棄を防止します。			
事業	監視体制を強化するため、不法投棄が多発する場所へ監視カメラを設置し、不法投棄の未然防止と撤去指導を行う。					
現状と課題	監視カメラの記録により、不法投棄行為者の情報を関係機関に提供している。 不法投棄が多発する場所に不法投棄の抑制、防止のため監視カメラを設置し監視体制を強化することで、行為者を特定し、関係機関と協力して撤去指導などを行う。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・監視カメラの設置 (1台)				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	「つくばみらい市地球温暖化対策実行計画（市の事務事業に関する温室効果ガスを削減する計画）」を推進します。（地球温暖化対策事業）					
施策番号	2-3	施策				
事業	つくばみらい市地球温暖化対策実行計画に基づき、市の事務事業により発生する温室効果ガス排出量削減を図る。					
現状と課題	温室効果ガスの排出量を削減するため、公共施設の新設、改修時に再生可能エネルギーの導入を推進する。 また、再生可能エネルギー導入のための調査研究を行う。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	市役所の温室効果ガス排出量 5,138,200	市役所の温室効果ガス排出量 4,954,900	市役所の温室効果ガス排出量 4,771,600	市役所の温室効果ガス排出量 4,588,400	市役所の温室効果ガス排出量 4,411,900
	行動計画	・温室効果ガス削減に取り組む				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	「つくばみらい市地球温暖化対策実行計画（市の事務事業に関する温室効果ガスを削減する計画）」を推進します。（地球温暖化対策事業）					
施策番号	2-3-1	施策	公共施設における省エネルギー機器や再生可能エネルギー設備の導入を推進します。			
事業	公共施設への省エネルギー機器や再生可能エネルギー設備の導入を推進する。					
現状と課題	省エネルギー機器の導入は環境への負荷低減のほか、コストの削減にもつながるので、積極的な導入を図るよう推進する。公共施設の新設、改修時に再生可能エネルギーの導入を推進する。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・省エネ機器、再生可能エネルギー設備導入の推進				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	防災課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	「つくばみらい市地球温暖化対策実行計画（市の事務事業に関する温室効果ガスを削減する計画）」を推進します。（地球温暖化対策事業）					
施策番号	2-3-2	施策	防犯灯のLED化を推進します。（防犯灯LED化事業）			
事業	水銀灯仕様の防犯灯をLED仕様に切り替えを図るとともに、防犯灯を新たに設置する際はLED仕様を導入する。					
現状と課題	水銀灯仕様の防犯灯は、多様な種類・組み合わせがあり、LED仕様へ改修する際は専門業者の現場確認を1灯ずつ事前に行う必要がある。そのため蛍光灯仕様からの改修よりも費用が高額となり、効率的な更新を行う必要がある。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	防犯灯LED化率93.4%	防犯灯LED化率94.8%	防犯灯LED化率96.2%	防犯灯LED化率97.6%	防犯灯LED化率98.9%
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 水銀灯仕様防犯灯のLED化 LED仕様防犯灯の新設 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	「つくばみらい市地球温暖化対策実行計画（市の事務事業に関する温室効果ガスを削減する計画）」を推進します。（地球温暖化対策事業）					
施策番号	2-3-3	施策	公共施設への節水型設備や雨水利用等の導入を促進します。			
事業	公共施設の新設、改修等に併せ節水型のトイレ、水回り設備の導入を推進する。					
現状と課題	市の保有する設備には、耐用年数により改修が必要な施設が多く存在する。 新設、改修等に併せて水回りやトイレ等に節水型設備の導入を推進する。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・節水型設備導入の推進				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	「つくばみらい市地球温暖化対策実行計画（市の事務事業に関する温室効果ガスを削減する計画）」を推進します。（地球温暖化対策事業）					
施策番号	2-3-4	施策	市で使用する車両については次世代エコカー（電気自動車、燃料電池自動車等）の導入を検討します。			
事業	次世代エコカーの導入を検討する。					
現状と課題	市で使用する車両にはハイブリット車の導入が進んでおり、温室効果ガスの排出量削減に取り組んでいる。次世代エコカーのリースや利用できる補助金について調査研究し、導入を推進する。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 次世代エコカーのリースや利用できる補助金について調査研究 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	産業経済課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	「つくばみらい市地球温暖化対策実行計画（市の事務事業に関する温室効果ガスを削減する計画）」を推進します。（地球温暖化対策事業）					
施策番号	2-3-5	施策	二酸化炭素を吸収するよう樹林地などの保全を推進します。			
事業	二酸化炭素を吸収するよう樹林地などの保全を推進する。					
現状と課題	本市が策定した森林整備計画に基づき適正に森林保護等を行っている。 樹林地の保護指定箇所がない状況であるが、地球温暖化防止に資するため、森林を伐採する際には伐採届の提出等の指導を行う。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 市広報等により伐採届の制度を周知し無届伐採を抑制するとともに、提出された伐採届の内容が市森林整備計画に適合しない場合は指導を行うことで森林を保護する 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	低炭素化社会への推進を図ります。					
施策番号	2-3-6	施策	新エネルギー等の普及と導入を促進するための調査研究をします。			
事業	石油など化石燃料の代替エネルギーとなる太陽光発電や風力発電、バイオマスエネルギー等の調査研究を行う。					
現状と課題	化石燃料の代替となる新エネルギー等を普及し導入を促進することは、低炭素化社会の実現や地球温暖化対策には有効な手段であるため国や茨城県などと連携し、新エネルギー等について調査研究する。 茨城県の補助事業を利用し、新エネルギーの導入者に補助金を交付する制度を運用する。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・新エネルギーの調査研究 ・補助制度の運用 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	低炭素化社会への推進を図ります。					
施策番号	2-3-7	施策	市民・事業者に向けて省資源・省エネルギー等の地球温暖化防止に関する啓発を推進します。			
事業	省エネルギーに結びつく機器に関する情報提供と普及啓発により、家庭や事業所での省エネルギーの実践を推進する。					
現状と課題	手軽に取り組める省エネの手法をホームページで紹介し家庭や事業所での省資源・省エネルギーに関する取り組みを推進する。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・取り組みやすい省エネ方法の啓発				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	低炭素化社会への推進を図ります。					
施策番号	2-3-8	施策	省エネルギー製品への買い替えなど地球温暖化対策に資するあらゆる賢い選択を促す国民運動「クールチョイス」を推進します。			
事業	ポスターの掲示や、市広報等を活用しクールチョイスを推進する。					
現状と課題	環境省が推進するクールチョイスを普及するため、ポスターの掲示やパンフレットの配布など普及啓発に取り組んでいる。温室効果ガスの排出量削減を図るには、一人ひとりの取組が必要であることから、市民や事業者へ普及啓発し事業を推進する。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・クールチョイスの普及、啓発				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	低炭素化社会への推進を図ります。					
施策番号	2-3-9	施策	住宅を建て替える市民に対し、省エネルギー性能の向上と再生可能エネルギーを導入した「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス」の選択を勧めます。			
事業	「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス」の導入を進めるため、市民への周知や情報提供を行う。					
現状と課題	低炭素化社会の実現に向け「ネット・ゼロ・エネルギー・ハウス」を導入するよう市民への周知や情報提供を行う。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・パンフレットの配布により市民への周知を図る ・市ホームページでの啓発 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	低炭素化社会への推進を図ります。					
施策番号	2-3-10	施策	環境家計簿の利用による日常生活における省資源・省エネルギーを推進します。			
事業	環境家計簿で家庭や事業所でのCO2排出量を算出することにより、省エネルギーの取組を推進する。					
現状と課題	環境家計簿は日常生活で排出するCO2量を簡単に確認できる。 本市において環境家計簿を公表しており、日常生活で活用していただくよう、周知・啓発を行い、省エネルギー化を推進する。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・環境家計簿の周知・啓発				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	上下水道課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	低炭素化社会への推進を図ります。					
施策番号	2-3-11	施策	市民・事業者に向けて市ホームページ、広報誌での節水啓発を行います。（節水協力事業）			
事業	市民・事業者に向けて節水啓発活動を行うことにより、貴重な水資源を守り自然環境の保護に努めるとともに、低炭素社会への推進を図る。					
現状と課題	節水器具の普及などにより、市民の節水意識は高まっている。今後も引き続き啓発活動を行い、市民・事業者へ取り組みを推進する。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	水道使用量230 ℓ/人・日	水道使用量230 ℓ/人・日	水道使用量230 ℓ/人・日	水道使用量230 ℓ/人・日	水道使用量229 ℓ/人・日
	行動計画	・市広報やホームページによる啓発活動				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	低炭素化社会への推進を図ります。					
施策番号	2-3-12	施策	公共施設への緑のカーテンの設置を図ります。			
事業	市の管理する公共施設において、緑のカーテンを設置し直射日光を遮断することで、室温の上昇を抑え冷房の効果を向上させ電気使用量の削減を図る。					
現状と課題	各公共施設で緑のカーテンを設置しているが、設置や維持管理に労力を要しているのが現状である。緑のカーテンを設置することによる周辺の気温や室温の低下を検証するためのデータ収集を行なっている。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 緑のカーテンの設置 気温や室温等データ収集 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	低炭素化社会への推進を図ります。					
施策番号	2-3-13	施策	事業者に対し、フロン排出抑制法に基づくフロン類の適正な回収・処理を啓発します。			
事業	事業者に対しフロン類の適正な回収・処理を啓発します。					
現状と課題	フロン排出抑制法に基づき、適正な回収・処理方法を、ホームページなどで情報提供することにより適正な回収・処理を行うよう啓発する。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・適正処理方法についての情報提供				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	低炭素化社会への推進を図ります。					
施策番号	2-3-14	施策	ノンフロン製品の使用を啓発します。			
事業	ノンフロン製品を使用し地球温暖化防止への取り組みを啓発する。					
現状と課題	フロン類は二酸化炭素に比べ数百倍以上の温室効果をもたらすため、ノンフロン製品の使用を啓発することが必要である。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・ノンフロン製品の情報提供				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					
						

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	低炭素化社会への推進を図ります。					
施策番号	2-3-15	施策	自動車運行による二酸化炭素排出量の削減のため、公共交通機関の利用促進や自動車通勤における相乗りの励行を図ります。			
事業	自動車運行による排気ガスの低減のため、公共交通機関や相乗り、自転車での通勤を励行する。					
現状と課題	自動車運行による排気ガス低減のため、公共交通機関の利用や自動車通勤における相乗り及び自転車通勤での周知・啓発を行う。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・公共交通機関の利用 や自動車通勤における 相乗り及び自転車通勤 での周知・啓発				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	健康で快適なまちの形成			
分類	各種公害の未然防止を図り、市民、事業者への啓発活動を実施します。					
施策番号	3-1-1	施策	公害の未然防止を図るための啓発活動を実施します。（公害未然防止啓発事業）			
事業	公害の未然防止を図るため、地域環境への影響に十分配慮しながら活動・事業を行うよう啓発する。					
現状と課題	大気汚染、水質汚染、騒音振動や悪臭等の公害は問題が生じてからでは対策が難しくなるため、公害発生を未然防止に向けた啓発活動を行う。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	苦情処理件数60件	苦情処理件数55件	苦情処理件数55件	苦情処理件数55件	苦情処理件数50件
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・市民や事業者への啓発活動 ・パトロールの実施 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					
						

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課		生活環境課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	健康で快適なまちの形成			
分類	各種公害の未然防止を図り、市民、事業者への啓発活動を実施します。					
施策番号	3-1-2	施策	公害苦情の対応を関係機関との連携により迅速に対応します。			
事業	事業者等へ地域環境への影響に十分配慮しながら事業を行うよう啓発し迅速な公害苦情対応を行う。					
現状と課題	公害関係については、茨城県等関係機関と連携を図っているため、引き続き連携しつつ迅速に対応する。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・茨城県等関係機関との連携 ・迅速な対応 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	健康で快適なまちの形成			
分類	各種公害の未然防止を図り、市民、事業者への啓発活動を実施します。					
施策番号	3-1-3	施策	不法投棄や野焼きパトロールを実施します。			
事業	不法投棄や野焼きのパトロールを定期的実施します。					
現状と課題	不法投棄や野焼きは、年間数回発生している状況である。 定期的なパトロールを行うことで、不法投棄や野焼きの抑止を図る。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・不法投棄防止パトロールの実施 ・野焼きに対する指導 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	健康で快適なまちの形成			
分類	各種公害の未然防止を図り、市民、事業者への啓発活動を実施します。					
施策番号	3-1-4	施策	自動車の排気ガスを減らすために、公用車に次世代エコカーの導入を検討します。			
事業	次世代エコカーの導入を検討する。					
現状と課題	市で使用する車両にはハイブリット車の導入が進んでおり、温室効果ガスの排出量削減に取り組んでいる。次世代エコカーのリースや利用できる補助金について調査研究し、導入を推進する。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 次世代エコカーのリースや利用できる補助金について調査研究 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課		生活環境課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	健康で快適なまちの形成			
分類	各種公害の未然防止を図り、市民、事業者への啓発活動を実施します。					
施策番号	3-1-5	施策	運転についても、アイドリングストップなどの環境に配慮した運転の普及・啓発を図ります。			
事業	市民や事業者に対してアイドリングストップや燃費の良い運転方法について普及啓発を図る。					
現状と課題	低燃費運転の方法を市民や事業者に情報提供し、環境に配慮した運転の普及啓発を図る。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・低燃費運転の情報提供				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	健康で快適なまちの形成			
分類	各種公害の未然防止を図り、市民、事業者への啓発活動を実施します。					
施策番号	3-1-6	施策	自動車運行による排気ガスの低減のため、公共交通機関の利用促進や自動車通勤における相乗りの励行を図ります。			
事業	自動車運行による排気ガスの低減のため、公共交通機関や相乗り、自転車での通勤を励行する。					
現状と課題	自動車運行による排気ガス低減のため、公共交通機関の利用や自動車通勤における相乗り及び自転車通勤での周知・啓発を行う。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・公共交通機関の利用 や自動車通勤における 相乗り及び自転車通勤 での周知・啓発				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	健康で快適なまちの形成			
分類	各種公害の未然防止を図り、市民、事業者への啓発活動を実施します。					
施策番号	3-1-7	施策	庭木の剪定枝や落ち葉は燃やさずに、堆肥化による有効利用を図るよう呼びかけます。			
事業	庭木の剪定枝や落ち葉は、燃やさずに堆肥化による有効利用の取り組みを推進します。					
現状と課題	堆肥化について個人でも気軽に利用できる方法を調査、周知する。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・堆肥の有効利用に向けた調査研究及び周知				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課	生活環境課		
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	健康で快適なまちの形成			
分類	各種公害の未然防止を図り、市民、事業者への啓発活動を実施します。					
施策番号	3-1-8	施策	公共用水域の水質測定を継続し、結果を公表します。（水質調査事業）			
事業	河川等の水を採取し水質検査を実施し、結果を公表する。また河川等の水質保全に関する啓発を行う。					
現状と課題	水質検査は毎年度実施しており、検査結果の公表を行っている。 今後もホームページで結果を公表するとともに、市民へ啓発を行い意識を高める。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	水質環境基準達成率100%	水質環境基準達成率100%	水質環境基準達成率100%	水質環境基準達成率100%	水質環境基準達成率100%
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 水質調査の実施 結果の公表 河川等の水質保全に関する啓発。 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	健康で快適なまちの形成			
分類	各種公害の未然防止を図り、市民、事業者への啓発活動を実施します。					
施策番号	3-1-9	施策	自動車騒音の発生個所で騒音測定による監視を続けます。			
事業	市内の主要道路で自動車の騒音測定を行う。					
現状と課題	騒音測定を計画的に実施するため自動車騒音常時監視調査実施計画を策定している。 この計画は5年計画で、騒音規制法の規定に基づき測定が必要な市内主要幹線道路から測定地点を選定し、調査を実施するものです。 引き続きこの計画のとおり調査を実施するとともに、自動車騒音の苦情が発生した場合は、随時調査を実施する。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・騒音調査の実施				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	産業経済課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	健康で快適なまちの形成			
分類	有害物質の安全管理を推進します。					
施策番号	3-1-10	施策	環境への負荷を低減するため、農薬使用量の低減や有機肥料使用促進などの環境保全型農業を推進します。			
事業	化学肥料・化学合成農薬を原則5割以上低減する取組と合わせて行う地球温暖化防止や生物多様性保全に効果の高い営農活動を支援する。					
現状と課題	現状は、市内で2団体が環境保全型農業に取り組んでいるが、認証や補助の要件等のハードルが高く、対象となる営農者が少ないため、支援対象となる新規の団体が少ない。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・広報紙や特別栽培に取り組む農業者等に対する事業周知				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	循環型社会の形成	目標	地球規模の環境対策			
分類	有害物質の安全管理を推進します。					
施策番号	3-1-11	施策	事業者に対し化学物質の適切な使用と管理を指導します。			
事業	茨城県や関係機関と連携し、化学物質を使用する事業者に必要なに応じて指導を行う。					
現状と課題	茨城県や関係機関と連携し、化学物質を使用する事業者に、適正な使用と管理を促しているため、引き続き連携を図りながら有害物質の安全管理を徹底させ必要な場合には指導を行う。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・必要に応じた指導				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	健康で快適なまちの形成			
分類	有害物質の安全管理を推進します。					
施策番号	3-1-12	施策	違法な野焼き行為を規制し、ダイオキシン類の発生防止に努めます。			
事業	禁止されている野外焼却（野焼き）について、法令遵守の徹底を図るよう周知を行い、行為者を特定した場合は適切な指導を行うことで、ダイオキシン類の発生の抑制に努める。					
現状と課題	野焼きによる煙害の苦情が毎年多く寄せられている。 野焼きは原則として法律で禁止されていることから、法令遵守の観点から行為者に対して近隣住民へ配慮するよう啓発、指導を図っていく。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	指導件数30件	指導件数30件	指導件数30件	指導件数30件	指導件数30件
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 野焼きに対する指導 市広報やホームページ等で野焼き禁止の周知・指導 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					
						

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	健康で快適なまちの形成			
分類	有害物質の安全管理を推進します。					
施策番号	3-1-13	施策	大気中のダイオキシン類の測定を継続し、結果を公表します。			
事業	常総環境センターと連携し、ダイオキシン類の測定結果を市民へ公表する。					
現状と課題	常総環境センターの焼却施設から発生する粉じんなどについて、常総環境センターが年4回の定期測定を実施している。測定結果が環境基準を超えていないか、注意深く推移を見守りつつ、測定結果を公表する。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・測定結果の公表				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	防災課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	健康で快適なまちの形成			
分類	有害物質の安全管理を推進します。					
施策番号	3-1-14	施策	空間放射線量の測定を継続し、結果を公表します。			
事業	定点測定による空間放射線量のモニタリングを年間2回実施する。					
現状と課題	市内全体の空間放射線量は、除染や自然減衰により徐々に下がり、除染実施計画の策定が必要な毎時0.23 μ Sv以下となっている。定点測定の頻度や測定方法について見直す必要がある。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	空間放射線量基準内の維持100%	空間放射線量基準内の維持100%	空間放射線量基準内の維持100%	空間放射線量基準内の維持100%	空間放射線量基準内の維持100%
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・定点測定 ・空間放射線量のモニタリング 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	都市計画課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	地域に調和した景観の創出			
分類	田園緑地景観、水辺景観、都市景観の保全と向上を図る					
施策番号	3-2-1	施策	景観計画に基づき市全域を景観計画区域として、良好な景観形成を図る。			
事業	景観計画に基づき良好な景観形成を図る。					
現状と課題	景観計画区域に指定した地域で一定規模以上の建築などの行為を行う時は、事前協議や届出の審査を行うことで良好な景観形成を図る。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・景観事前協議及び景観届出の審査により良好な景観を維持する				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課	都市計画課		
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	地域に調和した景観の創出			
分類	田園緑地景観、水辺景観、都市景観の保全と向上を図る					
施策番号	3-2-2	施策	絹の台地区及びみらい平地区を先導的な取組が期待できる地区として景観形成重点地区に指定し、良好な景観形成を図る。			
事業	景観形成重点地区において、良好な景観を形成し、維持する。					
現状と課題	市域全体を良好な景観を形成する区域として設定している。 重点的に良好な景観を形成する必要がある地区では、一定規模以上の建築などの行為を行う際は、事前協議や届出が必要となり、無届出等がないよう注視している。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・景観事前協議及び景観届出の審査により良好な景観を維持する				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					
						

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	都市計画課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	地域に調和した景観の創出			
分類	田園緑地景観、水辺景観、都市景観の保全と向上を図る					
施策番号	3-2-3	施策	景観形成上、重要な構造物や樹木について「景観重要建造物・樹木」に指定し、保全、管理を図る。			
事業	「景観重要建造物・樹木」を指定する制度を周知する。					
現状と課題	景観重要建造物・樹木に指定する重要な構造物や樹木については、広く情報を集める必要がある。ただし、指定にあたっては、個人の財産等に制限がかかることとなり慎重な対応が必要である。こうしたことから、今後は景観の保全と向上を目標に景観に関する周知を行い、市民へ景観制度への意識の醸成を図る。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・制度の周知 ・景観に関する周知 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課	都市計画課		
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	地域に調和した景観の創出			
分類	田園緑地景観、水辺景観、都市景観の保全と向上を図る					
施策番号	3-2-4	施策	屋外広告物の表示・掲出に関する行為について一定の制限により景観の保持を図る。			
事業	屋外広告物の行為を制限することにより景観やまちなみを保持する。					
現状と課題	つくばみらい市景観条例や茨城県の屋外広告物条例に基づき、屋外広告物の表示・掲出に関する行為について、一定の制限により景観やまちなみを保持していくことが重要である。 また、違反広告物により景観やまちなみが害されないよう、パトロールの強化や事業者への指導、看板撤去などを行なう必要がある。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	違反広告物撤去4回/年	違反広告物撤去4回/年	違反広告物撤去4回/年	違反広告物撤去4回/年	違反広告物撤去4回/年
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・景観事前協議及び許可 ・屋外広告物申請の審査 ・違反広告物の指導・撤去 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					
						

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

			担当課	都市計画課		
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	地域に調和した景観の創出			
分類	田園緑地景観、水辺景観、都市景観の保全と向上を図る					
施策番号	3-2-5	施策	景観づくりに関する意識の醸成を図るため、景観街づくりに関する情報について市のホームページ等を活用して情報の発信を行う。			
事業	市民に向けて景観まちづくりに関する情報を発信する。					
現状と課題	つくばみらい市景観計画概要版を事業者などに配布し、景観の啓発を図っている。 また、景観に関するガイドラインについては、ホームページ等を活用し情報発信している。 しかし、景観に対する関心は低く、意識の醸成を図っていくための取組が必要である。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・景観ガイドライン等の情報発信や提供 ・景観協定による街づくりのサポート 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					
						

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	都市計画課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	地域に調和した景観の創出			
分類	田園緑地景観、水辺景観、都市景観の保全と向上を図る					
施策番号	3-2-6	施策	景観づくりについての関心を高めるため、各種の啓発等を実施する。			
事業	景観づくりに関する啓発等の実施					
現状と課題	つくばみらい市景観計画概要版を事業者などに配布し、景観の啓発を図っている。 しかし、景観に対する関心は低く、意識の醸成を図っていくための取組が必要である。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・各種情報提供、ポスター掲示				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生涯学習課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	地域に調和した景観の創出			
分類	田園緑地景観、水辺空間、都市景観の保全と向上を図ります。					
施策番号	3-2-7	施策	文化財・文化遺産の保全と活用を図ります。			
事業	文化財や文化遺産の保存・保護などを行い、広く市民に紹介する。 埋蔵文化財の確認や各種調査を的確に行う。					
現状と課題	現在も文化財の保管や公開、展示を行っている。 今後、文化財の保存方法や展示方法を研究し、既存記念館施設の適切な維持管理を図る。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 埋蔵文化財の試掘及び発掘調査等の実施 施設の維持管理 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	開発指導課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	安全なまちの形成			
分類	防犯面や防災面、日常生活が安全である環境を推進します。					
施策番号	3-3-1	施策	旧耐震基準の住宅について、無料で木造住宅耐震診断士を派遣します。（耐震診断士派遣事業）			
事業	旧耐震基準の住宅について、無料で木造住宅耐震診断士を派遣する。					
現状と課題	旧耐震基準により建築された木造戸建て住宅を対象とし、木造住宅耐震診断士を派遣する。 市耐震改修促進計画では、住宅の耐震化率を95%とすることを目標としているが、費用がかかってしまうことや住んでいる方が高齢者であることが多いため、将来性などから建て替え・改修まで繋がらないことが多く、旧耐震基準の住宅の建て替え・改修が進まず、達成が厳しい状況である。 引き続き木造住宅耐震診断士派遣事業を実施し、耐震性不足と診断された建築物について、耐震補強の実施につなげることができるよう、併せて令和3年度に補助額を拡充した耐震補強補助制度の周知を行う。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	耐震診断件数7件	耐震診断件数7件	耐震診断件数7件	耐震診断件数7件	耐震診断件数7件
	行動計画	・木造住宅耐震診断士派遣事業実施（周知期間延長）				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					
						

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	防災課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	安全なまちの形成			
分類	防犯面や防災面、日常生活が安全である環境を推進します。					
施策番号	3-3-2	施策	LED防犯灯の設置を推進します。			
事業	水銀灯仕様の防犯灯をLED仕様に切り替えを図るとともに、防犯灯を新たに設置する際はLED仕様を導入する。					
現状と課題	水銀灯仕様の防犯灯は、多様な種類・組み合わせがあり、LED仕様へ改修する際は専門業者の現場確認を1灯ずつ事前に行う必要がある。そのため蛍光灯仕様からの改修よりも費用が高額となり、効率的な更新を行う必要がある。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	防犯灯LED化率93.4%	防犯灯LED化率94.8%	防犯灯LED化率96.2%	防犯灯LED化率97.6%	防犯灯LED化率98.9%
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 水銀灯仕様防犯灯のLED化 LED仕様防犯灯の新設 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					
						

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	防災課	
基本目標	快適な生活環境の創出	目標	安全なまちの形成			
分類	放射能対策を継続します。					
施策番号	3-3-3	施策	引き続き放射線量の測定を行い、結果を公表します。			
事業	定点測定による空間放射線量のモニタリングを年間2回実施する。					
現状と課題	市内全体の空間放射線量は、除染や自然減衰により徐々に下がり、除染実施計画の策定が必要な毎時0.23 μ Sv以下となっている。定点測定の頻度や測定方法について見直す必要がある。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	空間放射線量基準内の維持100%	空間放射線量基準内の維持100%	空間放射線量基準内の維持100%	空間放射線量基準内の維持100%	空間放射線量基準内の維持100%
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・定点測定 ・空間放射線量のモニタリング 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	参画と協働	目標	環境保全活動の支援			
分類	環境保全活動への積極的な参加を支援します。					
施策番号	参-1-1	施策	環境保全活動を推進していくための組織づくりを行います。			
事業	環境保全活動を充実させるための組織づくり、活動の活性化を推進する。					
現状と課題	環境保全活動を推進するため、公共施設里親制度への参加促進を図る。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 公共施設里親制度の周知、啓発 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	参画と協働	目標	環境保全活動の支援			
分類	環境保全活動への積極的な参加を支援します。					
施策番号	参-1-2	施策	環境保全活動を実施している市民や学校、町内会等を市のホームページや広報で紹介し、活動を支援します。			
事業	環境保全活動を実施している団体を調査し、活動内容を確認したうえで、ホームページなどで紹介し活動の支援を行う。					
現状と課題	環境保全活動をしている市民・団体について、活動内容を把握しホームページや市広報等により紹介する。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・活動団体の紹介、啓発				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	参画と協働	目標	環境保全活動の支援			
分類	環境保全活動への積極的な参加を支援します。					
施策番号	参-1-3	施策	環境保全に関する情報を収集し、市ホームページや広報で紹介します。			
事業	環境保全に関する情報を収集し、ホームページや市広報で紹介する。					
現状と課題	市民に環境保全への興味を持ってもらうための情報を収集し、ホームページにより紹介することで、意識向上を図る。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 環境保全に関する情報の収集、周知 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	参画と協働	目標	環境保全活動の支援			
分類	環境保全活動への積極的な参加を支援します。					
施策番号	参-1-4	施策	年2回の市内一斉清掃活動を支援・促進します。（一斉清掃活動支援事業）			
事業	年2回の市内一斉清掃活動を支援・促進します。					
現状と課題	市内一斉清掃を年に2回実施しているが、参加者数や、取組状況等を公表していないので、今後、これらの一斉清掃の状況を紹介し、参加者の増加を図る。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	一斉清掃参加者数 11,200人	一斉清掃参加者数 11,400人	一斉清掃参加者数 11,600人	一斉清掃参加者数 11,800人	一斉清掃参加者数 12,000人
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 市内一斉清掃の実施 参加者数、取組の紹介 市広報やホームページによる周知 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	建設課	
基本目標	参加と協働	目標	環境保全活動の支援			
分類	環境保全活動への積極的な参加					
施策番号	参-1-5	施策	鬼怒川・小貝川サミット会議の協賛事業を実施いたします。（クリーン大作戦）			
事業	鬼怒川・小貝川を対象とした「鬼怒川・小貝川クリーン大作戦」の実施					
現状と課題	継続した清掃活動の実施により、団体の参加申し込みがあるなど、参加者は増加しており、取り組みは市民に浸透している。参加者が増加する一方、対応する職員不足や河川区域等の駐車スペースに限りがあるなど、活動の運営に諸課題が生じている。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	実施回数1回	実施回数1回	実施回数1回	実施回数1回	実施回数1回
	行動計画	・クリーン大作戦の周知				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	参画と協働	目標	環境保全活動の支援			
分類	環境保全活動への積極的な参加を支援します。					
施策番号	参-1-6	施策	道路や公園などの環境美化活動を行う市民を支援します。（公共施設里親制度）			
事業	環境美化活動に関心のある市民を募集し、公共施設の里親として登録し活動を支援する。					
現状と課題	公共施設の里親として登録者への活動を支援している。 活動に参加してもらえるよう、登録数の増加を目指し公共施設里親制度を普及させる周知を行う。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	公共施設里親登録数 16団体	公共施設里親登録数 17団体	公共施設里親登録数 18団体	公共施設里親登録数 19団体	公共施設里親登録数 20団体
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・里親制度参加者への支援 ・制度の周知 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生涯学習課・各公民館	
基本目標	参画と協働		目標	環境教育の推進		
分類						
施策番号	参-2-1	施策	伊奈公民館、谷和原公民館及び生涯学習課において、それぞれ環境に関する講座を実施します。（環境講座開催事業）			
事業	環境講座を開催し、市民の環境に対する意識を高める。					
現状と課題	庭木の剪定やガーデニングなど、身近な緑の特性を知り、手入れすることの重要性は認識していても、自分の手で実施することは簡単なことではないので、まずは草花や小さな植え込みなどの手入れ方法を講座を通じて紹介し、緑化を推進していく。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	開催回数3回/年	開催回数3回/年	開催回数3回/年	開催回数3回/年	開催回数3回/年
	行動計画	・要望の把握に努め、ニーズの多い講座を実施できるよう企画する				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生涯学習課	
基本目標	参画と協働	目標	環境教育の推進			
分類						
施策番号	参-2-2	施策	環境学習や体験学習の場や機会の充実に努めます。			
事業	小中学生に環境学習や体験学習の場や機会の充実に努める。					
現状と課題	現在も環境学習や体験学習を実施している。体験をして初めて環境を意識する児童・生徒が多い。今後、温暖化など環境の現状を理解できる要素を取り入れた講座の企画が必要である。また、コロナ禍により現地での学習ができなくなることに備え、オンライン講座等での提供も検討する。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・講座の計画及び実施				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					
						

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	教育指導課	
基本目標	参画と協働	目標	環境教育の推進			
分類						
施策番号	参-2-3	施策	環境に関する施設を見学し、環境問題について学びます。			
事業	ごみ処理施設や下水道処理施設の見学の他に、新たな環境施設等を調査し、更なる環境学習の向上を推進します。					
現状と課題	現在の環境学習の中で訪問している主な施設は、ごみ処理施設と下水道処理施設のみとなっている。今後においては、それ以外の環境に関する施設において、施設の見学などの環境学習が可能であるのか調査し、実施可能な施設の拡大を図っていく。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・新たな施設での環境学習の実施				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	教育指導課	
基本目標	参画と協働	目標	環境教育の推進			
分類						
施策番号	参-2-4	施策	市民・事業者の協働による地域の環境美化を進めて行く組織づくりをします。			
事業	地域と学校とが協力しあい、学校敷地や身近な道路・公園などの環境美化を進めて行く事業を推進します。					
現状と課題	現在は、地域の方々の協力のもと、資源物回収をPTAなどが主体となり、環境美化活動を行っている。 今後は、資源物回収の他に地域の方々との協働による環境美化活動を進めていきます。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	参加回数2回/年	参加回数2回/年	参加回数2回/年	参加回数2回/年	参加回数2回/年
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> ・学校との競技 ・市民、団体への協力 ・高砂熱学との連携 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					
						

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生涯学習課	
基本目標	参画と協働		目標	環境教育の推進		
分類						
施策番号	参-2-5	施策	子どもたちや市民の環境美化に対する関心・意欲を高めていきます。			
事業	学校や地域の花壇で草花を育成できるよう、「花いっぱい運動」（チャレンジいばらき県民運動主催）に参加することで、子どもたちや市民の環境美化に対する関心・意欲を高めます。					
現状と課題	大好き茨城県民会議より、令和2年度をもって「花と緑の環境美化コンクール」を事業終了すると通達があり、目標値の設定が難しくなった。 今後は、「花いっぱい運動」の助成制度の周知等を通じ、自主的な環境美化の協力を各校に依頼する。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・助成制度の周知				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	参画と協働	目標	環境教育の推進			
分類						
施策番号	参-2-6	施策	他の市民や事業者を啓発することのできる人材を発掘、育成し、リーダーとして活躍できる機会を増やします。			
事業	環境学習、環境保全活動のリーダーとなる人材を増やすため、市民参加型イベントへの参加を推進する。					
現状と課題	現在は、茨城県が開催する講座「エコカレッジ」への参加を推進しているが、その他のイベントを調査し、市民参加の講座・研修などのイベントを紹介、周知する。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・市民参加型イベントを周知し参加を促進する				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	生活環境課	
基本目標	参画と協働	目標	広域的連携の強化			
分類						
施策番号	参-3-1	施策	廃棄物処理については常総環境センターと連携し、各種事業を効率的、積極的に推進します。			
事業	廃棄物処理については常総環境センターと連携し、各種事業を効率的、積極的に推進します。					
現状と課題	現在、ゴミ処理施設は本市、取手市、守谷市、常総市で構成する一部事務組合により広域的に連携し運営している。 今後も広域運営のメリットを生かし効率的な運営を推進する。 また、生ごみのたい肥化事業への取り組みを推進し参加世帯の増加を図る。					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	参加戸数1,700戸	参加戸数1,750戸	参加戸数1,800戸	参加戸数1,850戸	参加戸数1,900戸
	行動計画	<ul style="list-style-type: none"> 市広報等による周知啓発 参加者の募集 				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					
						

つくばみらい市環境基本計画 実施計画施策別調査シート

				担当課	上下水道課 生活環境課	
基本目標	参画と協働	目標	広域連携の強化			
分類	広域的連携の強化					
施策番号	参-3-2	施策	汚水処理については取手地方広域下水道組合及び常総衛生組合と連携し、各種事業を効率的積極的に推進します。			
事業	つくばみらい市内の取手地方広域下水道組合処理区の公共下水道整備については取手地方広域下水道組合と連携して事業を行う。 (上下水道課) 広域で構成されている組合である常総衛生組合と連携し業務の効率化を図る。(生活環境課)					
現状と課題	現在も取手地方広域下水道組合と連携して事業を行っているので引き続き連携を維持しつつ事業を行う。(上下水道課) 常総衛生組合とは現在も連携し各種事業を行っているので今後も継続し業務の効率化を図る。(生活環境課)					
年度別計画		令和4年度	令和5年度	令和6年度	令和7年度	令和8年度
	目標値 (実績値)	—	—	—	—	—
	行動計画	・各組合との連携強化				
	年度実績					
	自己評価					
	効果					